

令和4年度 岩手県立盛岡北高等学校
第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）会議録

1 日時 令和4年5月10日（火）15:20～17:00

2 場所 本校南講義室

3 出席者

学校運営協議会委員

森 英記 村上貢一 小畑和滋 天野哲彦 小山田哲也
小綿元貴 坂本 斉 阿部牧子 (以上8名)

本校教職員

小原由紀（校長） 寒河江研哉（副校長）
堀井祐輔（事務長） 高橋史顕（教務主任）
平野利浩（生徒指導主事） 田代 徹（進路指導主事）
浅沼淳子（保健厚生主事） 高見延也（図書視聴覚主任）
菊池保貴（総務主任） 鈴木 徹（経営企画担当）
舘澤理枝（総務担当） (以上11名)

4 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 学校運営協議会会長挨拶
- (3) 校長挨拶、出席者の自己紹介
- (4) 学校概況説明
- (5) 本年度の学校経営計画について
- (6) 学校運営協議会委員より御提言
- (7) その他
- (8) 閉会のことば

5 記録

学校運営協議会委員より御提言

① 《学校運営協議会委員》

「温故知新」を大事にしてほしい。地域とのつながりをより深め、コロナ禍においても、できることを積極的に行ってもらいたい。挨拶を交わさない生徒もいるため、学校において習慣づけてほしい。これからは、学校の存続のみを重視するのではなく、どうすればよいのかを確立してほしい。

② 《学校運営協議会委員》

キャリア教育と一言と言っても難しい。最近の生徒は知的好奇心が少ないように感じる。総合的な探究の時間を有効に活用してもらいたい。

③ 《学校運営協議会委員》

目的意識がないのに目標を持つというのは困難であると思う。最近の生徒は親以外の大人と接する機会が少ないように感じる。学校として、もしくは、教育者としての明確なビジョンを持ち、生徒を育ててもらいたい。

④ 《学校運営協議会委員》

学校経営計画において達成しているものに関しては維持してもらいたい。生徒は、学校での取組は非常に良好であると思う。校外への行動に向かう力をつけてほしい。

⑤ 《学校運営協議会委員》

図書視聴覚の今後の重点目標である「読書の推進」は是非、取組の目玉にしてほしい。

⑥ 《学校運営協議会委員》

学校は大学進学のための予備校ではない。生徒は、部活動や学校行事により励み、豊かな感性や人間性を育ててほしい。

⑦ 《学校運営協議会委員》

総合的な探究の時間は1年生から行ってもいいと思う。3年間を見据えた取組みにし、進路研究につなげてもらいたい。

⑧ 《学校運営協議会委員》

生徒は、校内において礼儀正しくしっかりと学業や部活動に励んでいると思う。しかしながら、校外においてはやや消極的であると感じる。より多くの地域の方々と触れ合い、学校もしくは生徒をアピールしてほしい。

その他

(学校側から)

盛岡北高等学校スクールポリシー作成に向けて、学校運営協議会委員の皆様からご意見をいただきたい上で作成したい。本校のこれからの10年を見据え、「盛岡北高はどのような学校であるべきか」について記述していただきたい。提出していただいた文章をクラスター解析によりその傾向を集約し、スクールポリシー作成に反映させたい。